



福岡県議会議員 たかはし雅成 の

# ぽてと通信

2008年1月15日 号外

## 公明党の薬害肝炎救済への取り組み

- 2003/08/22 坂口厚功労大臣が、薬害根絶の要望書を受け取る。
- 06/08/31 公明党肝炎対策プロジェクトチーム(PT)が、大阪地裁、福岡地裁判決を受けた原告団から要望を聞く。
- 07/03/29 公明党肝炎対策 PT が、塩崎官房長官に薬害肝炎全面解決の申し入れを行う。
- 07/10/22 厚労省が、感染者の調査結果を発表。
- 07/12/13 大阪高裁が、原告、被告双方に和解骨子案を提示。  
原告団は、一律救済を望み、受け入れ拒否。
- 07/12/18 坂口副代表らが、町村官房長官に一律救済を要請。
- 07/12/19 太田代表が福田首相に会い、一律救済の決断を迫る。
- 07/12/20 政府が和解骨子案提示。  
原告団は、一律救済を望み、受け入れ拒否。  
太田代表が福田首相に再度政治決断を迫る。
- 07/12/23 福田首相「一律救済を決断」議員立法で法制化を表明。
- 2008/01/11 薬害肝炎救済法が成立。

### マスコミの反応【12月】

#### 日本経済新聞(24日付)

「薬害肝炎問題に与党内でとりわけ神経をとがらせたのは公明党だった」と指摘。「太田昭宏代表は『患者の気持ちや心情を政府が十分に受け止めていない』と政府を公然と批判」したとし、(福田内閣の)「支持急落で公明圧力」との見出しを立てて大きく報道しました。

#### 産経新聞(24日付)

「公明党は、太田昭宏代表らが原告の主張を受け入れるべきだと訴えたが、自民党は腰が重かった。(中略)20日、原告団が政府の修正案を拒否し、公明党からも失望の声が出たことで、首相はようやく『党総裁』として動いた」と経緯を紹介。

#### 読売新聞(24日付)

『「首相は役人の振り付けに乗っているだけだ。〈法の体系が崩れる〉と言っているうちに政権が崩壊する。全く国民の目線に立っていない』(公明党幹部)などと不満が噴き出した。ここへ来て、首相もついに決断した」と報道しました。

# 薬害肝炎救済法成立

平成20年1月12日公明新聞掲載

## 扉開いた公明の取り組み



薬害肝炎全国原告団代表 山口美智子さん

昨年3月30日、私たちは初めて首相官邸に入りまし

た。前日の29日夜には、東京・日比谷公園で座り込みをしていた私たち原告団の姿を見るに及ばず、公明党の坂口力副代表や古屋範思っています。

また、公明党は一昨年6

月からは、全員一律救済は当

炎の人々は救済されませ

た。前日の29日夜には、東京・日比谷公園で座り込みをしていた私たち原告団の姿を見るに及ばず、公明党の坂口力副代表や古屋範思っています。

た。前日の29日夜には、東京・日比谷公園で座り込みをしていた私たち原告団の姿を見るに及ばず、公明党の坂口力副代表や古屋範思っています。

た。前日の29日夜には、東京・日比谷公園で座り込みをしていた私たち原告団の姿を見るに及ばず、公明党の坂口力副代表や古屋範思っています。

月から何度も独自のヒアリングを開き、真剣に私たちの被害に耳を傾けてくれました。そのとき、心が安らいたことを覚えています。

今回の法案についても、太田昭宏代表、斎藤鉄夫政務調査会長はじめ、大阪高裁の和解骨子案が出る前から、「和解」というので

「和解」というので、今回の法案についても、太田昭宏代表、斎藤鉄夫政務調査会長はじめ、大阪高裁の和解骨子案が出る前から、「和解」というので

肝炎の総合対策について